



Rotary Serving Humanity  
2016~2017年度RIテーマ

例会場：ホテル プエナビスタ／例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

点 鐘 19:00

司 会 S. A. A.・プログラム

斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト・ビジター紹介

ゲスト；米山記念奨学生

ビジター；岐阜城RCパスト会長

李 穎輝 様へ

米山記念奨学金授与

児野副会長  
宮澤クラブ管理委員長

児野副会長

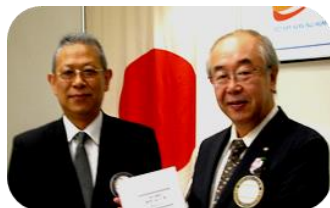
李 穎輝 君

澤田善吉君



11月お祝い報告

大久保会員増強組織副委員長



[会員誕生祝] 田内会員 藤田会員 西牧会員 赤羽会員

幹事報告

藤田幹事

①臨時会長・幹事会開催のお知らせ。

開催日…12月3日(土)13:30~16:00。会場…松本大学5号館。議題…「規定審議会により、クラブ・地区にとっての主な変更事項について」

②「地区補助金管理セミナー(次年度事業説明会)」開催のご案内。

日時…2016年12月4日(日)13:30~16:00。場所…松本大学5号館515教室。出席対象者…会長エレクト、次期幹事、次期財団担当者。持ち物…R財団地区補助金マニュアル本編・資料編(最新版)。

③本日例会終了後、定例理事会開催。

④各RC例会変更のお知らせ。

[白馬RC]11月15日(火)移動例会(11/20中信第一グループ会員セミナー&IM)、11月29日(火)休会(クラブ指定)

出席報告

中島クラブ管理副委員長

会員総数22名(内出席規定適用免除欠席者2名)

本日の欠席者5名 出席率75%

前々回(10/16)修正欠席者6名 出席率64.71%

ニコニコボックス報告

中島クラブ管理副委員長

[会員誕生祝] ◇今日、また1つ年を取りました。藤田君 ◇私の誕生祝に岐阜より澤田様が駆けつけて下さったのは感激であります。田内君

[その他のコメント] ◇澤田さんようこそ。元気の素分けて下さい。大久保君 ◇澤田先輩ようこそ!! 明日は文化の日、〇〇市の友人がミス〇〇の引率係で来松しています。宮澤君

◇澤田様お久しぶりですね。井筒君 ◇澤田さん、ようこそ!! 又、お会いできて嬉しいです。塚本君 ◇早や11月。紅葉も美しくなりました。上條君 ◇寒くなりました。征矢君 ◇冷え込むようになりました。春と秋という過ごし易い季節が短くなり、日本らしさが薄れ、寂しい気がします。中島君 ◇本日の会員卓話は、幼少時代、松本城でたくさん遊んだという話をします。宮坂君 ◇宮坂さんの卓話、楽しみです。丸山君

◇児野君 ◇柴田君

訪問ごあいさつ

岐阜城RC澤 善吉君

最初に貴クラブを訪問させていただいたのは21年前になります。当時よりクラブがスリムになられたと感じます。そういう感覚を兼ねて思っておりますが、フィンランド、エストニア、ラトビアも行って参りましたが、そのあたりのRCをメーキャップしますと10名前後が多い。20名以上のクラブは殆ど訪問したことがありません。

今まで130ほどの国の例会に行きました。全てのクラブでバナーの交換をしまりました。11月と12月はイタリアがお薦めです。ローマのクラブの家族例会は、盛装で行われます。とても雰囲気が良い。12月は妻と2人でスペインとポルトガルへ1ヶ月行く予定です。その間7RC程メーキャップする予定です。

皆さまもインターナショナルロータリアンとして、是非、世界大会をきっかけにして訪問してみても如何でしょうか。世界大会で顔見知りができ、ガーナやナイジェリアの方もお知り合いになり、メールでやり取りしています。そんなことで、友達を増やすことがロータリアンの1つの大きなオブジェクトではないかなと思っています。

皆さまもインターナショナルなロータリアンとして頑張っていたらいいとおもいます。

配布資料「ガバナー月信11月号」「幹事報告」「会報 No.16」

～ プログラム ～

《会員卓話》「わたしと松本城」

丸山隆則会員

私が松本城で最初に思ったことは春の花見です。毎年家族と夜の花見に弁当を女房が作り、お城で花見をしながらお弁当を食べることで。結婚以来ずっと続いています。

次が母の実家が食肉工房「丸勝」の近くで、母の父親が遠永ガラスを営んでいまして、お城の遊園地に連れて行っていただいたことと母の実家の土蔵に当時の「東宝セントラル」と「テアトル銀映」のポスターが貼ってあり、毎月4枚位無料券が来て映画を楽しんだ思い出があります。現在の宮坂さんの「セントラル・ビオス」です。私が高校の頃まで楽しみました。



それからお城は上條香月先生のお花です。毎年ゴールデンウィークに松本城で“木曾の檜”と“お花”のコラボがあります。その関係でエルサルバドル大使、アイルランド大使、インドネシア大使、モロッコ大使、メキシコ観光局長夫人などなどともお知り合いになれたことです。

その次に思い出すのが、かれこれ12年ほど前に現場で仕事をしていた頃に、女房から「親友が鯉に餌をあげていたら、彼氏からいただいた指輪がお堀に落ちてしまった」と電話がありました。自分は仕事が終わった後、夜10時頃にお城に向かい12月の寒い中、女房と指輪を落とした親友と彼氏まで集まり、お堀の冷たい水の中に入り、夜中の3時頃まで探した記憶があります。身体が芯の芯まで冷えたことを覚えています。結局、指輪は見つかりませんでした。

それからお城の北側から天気の良い日は槍ヶ岳が見えることを知りました。

色々なお城に行きました。熊本、彦根、岡山、大阪、名古屋、姫路、二条城、犬山、岐阜城などです。今は悲惨な状態になってしまいましたが、松本城と似ているのが熊本城です。熊本ホテルキャッスルの支配人が知り合いで、天皇様も見た最上階からの熊本城に感激しました。次の日の朝、熊本城に歩いて登って行くと天守閣に着いて愕然としました。硝子が入っていました。残念でした。

たしか私の記憶だと松本城と姫路城の設計者が同じだという事です。

今、ネットで人気お城「世界のトラベラーが選んだ行ってよかった日本の城トップ10」の1位熊本城、2位松山城、3位姫路城、4位弘前城、5位松本城。そしてネットの「行ってよかった！日本の城ランキング2016」1位姫路城、2位松本城です。やはり松本城は最高です。

#### 《会員卓話》「わたしと松本城」

私の生家は、現在のセントラル・ビオスの敷地内に映画館と並んでありました。松本城までは歩いて3分。ですので、幼少時代から松本城は最高の遊び場所といっても過言では無いくらい、身近な存在です。

最も古い記憶としては、おそらく2歳くらいだと思いますが、松本城公園にはほぼ毎日散歩に連れて行かれていたこと。記憶が定かではないのですが、たしか公園には売店が存在し、そこで牛乳とえびせんを買ってもらい、当時まだ公園の中央にあった噴水の近くのベンチで牛乳を飲みながらハトにえびせんを与えていました。ちなみに現在セントラル・ビオスはハトのフン害に悩まされ続けており、慣れ親しんだ松本城のハトが成人して天敵になるとは、当時思いもしませんでした。

中島さんも卓話で述べられていた通り、公園の西側には遊園地があり、いわゆるお猿の電車に乗ることが、最大の楽しみでもありました。

3歳でテレジア幼稚園に入園すると、毎日公園を対角線に突っ切り通園をしていました。年中からは1人で通園しましたので、登園時はよく公園内で道草し、思いっきり時間を潰して、出来る限り幼稚園で過ごす時間を短縮するように工夫していました。というのも、私は幼稚園が大嫌い、今の自分からは想像できませんが、ほとんど自閉症に近いくらい誰とも話したくありませんでした。ですので、朝の松本城公園は憂鬱な場所でもあったのです。

そんな暗い幼稚園時代も、年長になり友達が出来ました。友人はやんちゃな性格でした。ある日の帰り道、彼から「あの

石垣を超えてお城に入ろう」と言われ、正直気は進みませんでしたが、しょうがなくその彼の後を追って石垣を登り始めました。すいすいと登る彼について行こうとした矢先、私だけあっけなく転落。幸い1mほど登ったところだったので、大げには至りませんでしたが、足は擦りむき結構な血が流れました。これは今でもトラウマで、ロッククライミングの映像は今でも観ることが出来ません。

数か月後、その彼にまたも悪い遊びを教え込まれました。真冬の帰り道、今度は全面結氷したお堀に乘ろうというのです。現在お堀は地下水を入れ込んでいられるらしく、結氷しませんが、当時はガチガチに凍りました。だからといってその遊びが危険であることは6歳の自分でも容易に想像できました。おそろおそろ氷の上に立ったことは今でも忘れられません。しかし意外にも氷はびくともせず、幼児2人は大胆にもスケート遊びに熱中しました。「お前ら何やっているんだ！」突如として怒声が響き、振り向くと管理員らしいオジサンがスゴイ形相でこちらを睨んでいます。結局補導され管理事務所に連行。幼稚園に通報され、先生と親にこっぴどく叱られました。今考えてみると、無鉄砲な遊びでしたがあれはスリリングで面白かった。そして氷が割れなくて本当に良かった。割れていたなら今、私はここにいなかったでしょう。あの管理員は命の恩人かもしれません。

開智小学校に入学してからも、通学路は松本城公園でしたので、毎日天守閣を見ながらの登下校でした。その後附属中学へも通学路でしたので、幼稚園3年・小学校6年・中学3年の12年間、毎日松本城公園を通っていたこととなります。

国宝天守閣を見ながら毎日通学する。当時は当たり前に感じていましたが、よく考えれば贅沢極まりない環境です。それが分かったのは、駿台甲府高校に進学してからです。甲府にはそんなものはありませんでした。国宝はおろか天守閣すらない街です。大学時代を過ごした横浜も同様です。松本城の良さは、離れて暮らして初めて実感できました。

かなりノスタルジックな松本城への想いを述べましたが、ここからは真逆なことを話します。現在、松本市が事実上推し進めている女鳥羽川より北側、ほぼすべての建物高さ規制には反対です。天守閣より高い建物はご法度。これが市の狙いです。この規制が実現すれば、わが社のセントラル・ビオスが既存不適合になり、将来的に10階建て同規模の建て直しが不可能になるというのが第一の反対理由ですが、それだけではありません。

松本城は我々松本市民の精神的支柱ですが、それはあくまでも支柱に過ぎません。「いまを生きる」我々は、この街を現代的に発展させなくてはなりません。お城と共存することは大切ですが、周辺建造物がすべて天守閣より低くなることは、過去への逆行です。高さ規制をすれば、たしかに昔っぽい街並みになるでしょうが、恩恵を受けるのは一部の観光業界だけです。「世界遺産」を狙うなど、夢物語。どこにも取れる確証はありません。

今後計画されるマンションも階層が低くなりますので、一戸あたりの価格は間違いなく上昇します。あまり余裕のない若年夫婦には手が出ない設定となるでしょう。時代は凄まじい少子化に加え超高齢化。人口減少が始まっています。アルピコがバスの3路線廃止を表明したように、将来的に交通機関も縮小せざるを得ません。そんな時代こそ街の中心部を住みやすくすること、いわゆるコンパクトシティの考えがマッチします。

どうかこの点は理解して頂き、安易な高さ規制に賛同されませんことを最後にお願いたします。

点 鐘 20:00

児野副会長